

自己評価表

子どもサポート教室 桃花台校第1 平成 29年 12月 23日

子どもサポート教室では、各事業所が提供するサービスの質について、スタッフ自ら評価・点検をしています。指定基準を満たしたうえで、より良いサービス提供を目指し、お子様の幸せに貢献し続けることも、自己評価結果を公表することで、みなさまに安心してご利用いただく一助となるためのものです。なお、評価基準は、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに独自の基準を設けています。

	チェック項目	取り組み状況
1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	法令を遵守したスペースが確保できています。個別療育には広すぎるようにも感じます。
2	職員の配置数は適切であるか	法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名配置しています。
3	通常基準より多い指導員数を配置する等の配慮がなされているか	法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名配置しています。
4	事業所の設備や教員教材等について、利用者に応じた配慮が適切になされているか	お子様が楽しく通っていただけるよう、明るく楽しいフリースペースを取り入れています。また指導室内には、お子様の注意集中のため、飾りつけなどせず、極力シンプルに内装としております。
5	事業所内の安全対策が十分に取られているか	教材や遊具、設備の安全に気をつけていますが、入り口ドアは通常施錠していないため、事務室内の指導員が目配るようになっています。
6	事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか	毎日清掃・消毒を行っています。
7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員参画しているか	業務改善のため定期的に職員会議を行っています。
8	実施する保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげていく計画の進捗を、事業所内で把握しているか	保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。
9	自己計画の進捗を、事業所内で把握しているか	当社HPにて公開しています。
10	第三者による外部評価をおこない、評価結果を業務改善につなげているか	現在は、利用者・社内の二者評価をとりおこなっています。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
11	職員の資質の向上をおこなうために、研修の機会を確保しているか	初任者研修を実施し、その後もすべての指導員に継続的に研修をおこなっています。
12	スーパーバイズ等を受ける体制を整えているか	指導的の質を担保し、すべての指導員が日々スキルアップできるよう、より高い指導スキルをもつトレーナーやスーパーバイザーに指導を受ける機会を整えています。
13	課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。
14	子どもの状態を把握するため、また支援に対しての進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	統一したアセスメントシートを使用しています。
15	子どもに応じたプログラムを立案できるよう、必要に応じてチームもしくは複数名の職員で検討しているか	お子さまの事例を共有・議論するケース検討会を開催しています。
16	子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫(固定化させない、子どもが主体的に選択する機会を設ける等)しているか	お子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせ、効果的に楽しく学べる指導を追求します。次の学びにつながる成功体験を重視し、やりたくないことをやらされるのではなく、お子さまが自発的に適切な行動をとったり、学びやすい指導環境をつくります。
17	子どもの生活環境(平日、休日、長期休暇等)に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休暇用の課題を作成したり、学校の行事等の生活環境に合わせて支援しています。
18	子どもの状況に応じて、個別、集団による支援を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	他事業所とも連携することで個別、集団による支援を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しています。
19	子どもの状況に応じて、家族支援、地域連携等の環境へのアプローチの視点を持って個別支援計画を作成しているか	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	職員間での情報共有をおこなっています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	職員間での情報共有をおこなっています。
22	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎回指導記録をとり、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしています。
24	ガイドラインの総則の基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)を複数組み合わせた視点から、計画的に支援を	ガイドラインの基本活動を準拠して、計画的な支援をしています。

25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ども の発達障害の状況に精通した最もふさわしい者が参画で きるようになっていないか	児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのス タッフがお子様の状態を把握しチームでの支援を展開 しています。
26	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子ども の下校時刻等の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラ ブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校の行事予定に合わせた支援を行ったり、必要に応 じて学校との情報共有、連絡調整を行っています。
27	事業所内スタッフ(の対応が難しい)身体コト(症状等)より医 療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等 から意見を確認する等その対応方法について具体的に協 議されているか	現在該当するお子様はおりませんが、受け入れに際し ては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断 していきます。
28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児 童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努め る学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉 サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内等 の情報を提供するなどしているか、またはその体制ができ 事業所外の専門機関・専門家等と連携し、助言や研修を受 けているか	情報提供できる体制を整えています。 現在該当するお子様はおりませんが、情報提供できる 体制を整えています。
30	放課後児童クラブ、児童館の利用等、地域での他の子ども と活動する機会に対しての支援を行っているか	外部専門家による研修をおこなっています。
31	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	地域交流については、限られた指導時間のうちで実施 が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に 実施することはおこなっていません。個々のお子様の状態 に応じて、必要があれば支援計画に位置づけた上で 実施いたします。
32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者様へフードバックの時 間を設けています。
33	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭 での対応方法などについて助言等の支援を行っているか	支援後のフードバック時に家庭での対応方法につい てアドバイスいたします。
34	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレントトレーニング等の支援に関して情報提 供等を行っているか	職員がペアレントトレーニングの知識を習得できるよう、 研修を行っています。
35	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説 明をおこなっているか	運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧に ご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示してい ます。具体的な支援の内容については、個別支援計 画の提示面談時に説明するとともに毎回の支援終了 後に保護者様へフードバックの時間を設けていま す。
36	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、必要な助言と支援を行っているか	主に支援後のフードバック時に相談に応じておりま す。
37	保護者からの相談対応の状況にかかわらず、適切な他機関・他 サービスにリファールする、もしくは情報提供等を行っている か	相談対応の状況に応じて、学校や他機関と連携して支 援を行っています。
38	父母向けの座談会・保護者会等を開催する等により、保護 者同士の連携を支援しているか	現在定期的には行っておりませんが、今後保護者会 や座談会等を随時実施していきたいと考えています。
39	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に 迅速かつ適切に対応しているか	いただいた苦情に対しては、社内フローを定め迅速か つ適切に対応しています。
40	定期的な活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子ど もや保護者に対して発信しているか	教室内にイベントのご案内等の連絡を掲示していま す。
41	個人情報に十分注意しているか	個人情報に記載された書類は鍵付きキヤベネットに保 管しています。また、個人情報にアクセスできる端末は パスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
42	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための合理 的配慮をしているか	お子様・保護者様の状態に応じて、視覚的情報などを 活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。 ご希望される保護者様には支援の見学等、様子の分 かるよう対応しております。
43	地域住民、地域の関係機関に協力いただいて事業所の行 事を行う、など地域に開かれた事業運営を図っているか	地域の方も参加可能な事業所でのイベントを行ってい ます。
44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マ ニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルを策定し、研修を実施しています。
45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要 な訓練を行っているか	定期的な避難訓練を実施しています。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切 な対応をしているか	マニュアルを策定しています。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、 組織的に決定し、保護者に利用契約時に事前に十分に説 明し了解を得た上で、個別支援計画にも記載しているか	現在該当者はおおりませんが、必要の際は保護者様 へは契約時に丁寧に説明し、個別支援計画の特記事 項にも記載していきます。
48	アレルギ―のある子どもについて、医師の指示書に基づ く対応がされているか	現在該当者はおおりませんが、全てのお子さまについ て、アレルギ―の有無を確認しています。指導時に該 当物質との接触が起こらないよう留意していきます。
49	ヒヤリハット事例について、その改善策を検討し、報告書を 事業所内で保管、ヒヤリハット事例の内容について周知共 有しているか	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告 書を作成・保管し、職員間で共有しています。

自己評価表

こどもサポート教室 桃花台校第2 平成 29年 12月 20日

こどもサポート教室では、各事業所が提供するサービスの質について、スタッフ自ら評価・点検をしています。指定基準を満たしたうえで、より良いサービス提供を目指し、お子様の幸せに貢献し続けることも、自己評価結果を公表することで、みなさまに安心してご利用いただく一助となるためのものです。なお、評価基準は、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに独自の基準を設けています。

	チェック項目	取り組み状況
1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	法令を十分に遵守したスペースが確保できています。個別で行う際に隣部屋の利用者の声が届くことはありません。
2	職員の配置数は適切であるか	法令が必要とされる配置数以上の指導員がいます。丁寧な報告や保護者対応のためにも、さらに指導員等を増やしていけたらと考えています。
3	常時見守り等が必要な子どもに対する対応等を想定して、通常基準より多い指導員数を配置する等の配慮がなされているか	法令が必要とされる配置数以上の指導員がいます。様々な利用者状況に対応できるよう、さらに指導員等を増やしていけたらと考えています。
4	事業所の設備や教具教材等について、利用者に応じた配慮が適切になされているか	お子様が楽しく通って頂けるよう、様々な教具教材を揃えています。様々な年齢の利用者様に合わせて、今後も適宜増やしていきます。
5	事業所内の安全対策が十分に取られているか	教材や遊具の安全に気をつけています。棚等の角カバニ、全体的な窓ガラスフィルム等、今後も改善していきます。
6	事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか	毎日清掃・消毒を行っています。
7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員参画しているか	個別支援計画についてはできています。定期的に職員会議を行い、業務改善にも繋げていきます。
8	実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげていくか	保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。
9	自己評価の精度を、事業所から定期的に確認しているか	当社HPにて公開しています。
10	第三者による外部評価をおこない、評価結果を業務改善につなげているか	現在は、利用者・社内の方の評価をどうしております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
11	職員の資質の向上をおこなうために、研修の機会を確保しているか	指導員に対しての手續きや法律関係等の研修も行っています。
12	スーパーバイズ等を受ける体制を整えているか	すべてでの指導員が日々スキルアップできる仕組みを整えています。
13	アセスメントを適切におこない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントを使用しています。
14	子どもの状態を把握するため、また支援に対する進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントを使用しています。
15	子どもに応じたプログラムを立案できるよう、必要に応じてチームもしくは複数の職員の検討しているか	アセスメントの特性や年齢・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を追求します。より学びやすい指導環境をつくるために、新たな教材も揃えています。
16	子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫(固定化させない、子どもが主体的に選択する機会を設ける等)しているか	長期休暇や学校の行事等の生活環境に合わせて支援を行っています。
17	子どもの生活環境(平日、休日、長期休暇等)に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	集団の子への個別支援もしています。今後も必要に合わせて1対1での対応もしていきます。
18	子どもの状況に応じて、個別、集団による支援を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
19	子どもの状況に応じて、家族支援、地域連携等の環境へのアプローチの視点を持って個別支援計画を作成しているか	職員間での会話内で情報共有をおこなっています。
20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	毎回指導記録をとり、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしています。
22	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしています。
23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしています。
24	ガイドラインの総則の基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)を種数組み合わせた視点から、計画的に支援を	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。

25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ども達の発達障害の状況に精通した最もふさわしい者が参画できるようにしているか	児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子様の状態を把握しチームでの支援を展開しています。
26	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校の行事予定に合わせた支援を行ったり、必要に応じて学校との情報共有、連絡調整を行っています。
27	事業所内スタッフでの対応が難しい身体合併症等により医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等から意見を確認する等その対応方法について具体的に協議学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努め学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内等の情報を提供するなどしているか、またはその体制ができず事業所外の専門機関・専門家等と連携し、助言や研修を受けられているか	外部専門家による研修をおこなっています。
28	児童発達支援事業所等と相互理解に努め学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内等の情報を提供するなどしているか、またはその体制ができていないか	地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施することはしておりません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置づけた上で実施いたします。
29	児童発達支援事業所等と相互理解に努め学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内等の情報を提供するなどしているか、またはその体制ができていないか	地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施することはしておりません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置づけた上で実施いたします。
30	児童発達支援事業所等と相互理解に努め学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内等の情報を提供するなどしているか、またはその体制ができていないか	外部専門家による研修をおこなっています。
31	放課後児童クラブ、児童館の利用等、地域での他の子どもと活動する機会に対しての支援を行っているか	機会があることに参加しています。
32	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	毎回の支援終了後に、保護者様へフリースタックの時間を設けています。
33	日頃から子ども達の状況を保護者と伝え合い、子ども達の発達状況や課題について共通理解を持っているか	支援後のフリースタック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています。
34	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援を行っているか	支援後のフリースタック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています。またペリアルントレーニングについて、情報提供を行っています。
35	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペリアルントレーニング等の支援に関して情報提供等を行っているか	運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。個別支援計画の提示面談時に説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様へフリースタックの時間を設けていますが、支援内容の報告をする時間はもっともりたいと考えています。ホルトガル語版の書類についても、より揃った状態にしていきたいです。
36	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	主に支援後のフリースタック時に相談に応じております。
37	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言と支援を行っているか	相談対応の状況に応じて、学校や他機関と連携して支援を行っています。
38	保護者からの相談対応の状況に応じて、適切な情報提供等を行っているサービスにリファラーする、もしくは情報提供等を行っているか	現在定期的には行っておりませんが、今後保護者会の機会も設けていきたいと考えています。
39	父母向けの座談会・保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	いただいた苦情に対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。
40	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	教室内にイベントのご案内等の連絡を掲示しています。
41	定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	個人情報に記載された書類は鍵付きキヤベネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。お子様・保護者様の状態に応じて、視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。ご希望される保護者様には支援の見学等、様子の分かるよう対応しております。
42	個人情報に十分注意しているか	定期的な避難訓練を実施しています。
43	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための合理的配慮をしているか	マニュアルを策定し、研修を実施しています。
44	サービス提供中の子ども様子を保護者が把握できるように努めているか	マニュアルを策定し、研修を実施しています。
45	地域住民、地域との関係機関に協力いただいて事業所の行事を行う、など地域に開かれた事業運営を図っているか	定期的な避難訓練を実施しています。
46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルを策定し、研修を実施しています。
47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的な避難訓練を実施しています。
48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	マニュアルを策定し、研修を実施しています。
49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、保護者に利用契約時に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画にも記載しているか	定期的な避難訓練を実施しています。
50	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	定期的な避難訓練を実施しています。
51	ヒヤリハット事例について、その改善策を検討し、報告書を事業所内で保管、ヒヤリハット事例の内容について周知共有しているか	定期的な避難訓練を実施しています。